

令和4(2022)年度 児童館事業年間活動報告書

養正児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
基 本 子 活 動	2) 遊びの教室活動															
	おはなし会	10	1	11	263	2	47			28				352	「京都おはなしを語る会」の方々による絵本の読み聞かせや民話の語り聞かせを行った。	子どもたちは毎回の語り聞かせを楽しみにしている。自由来館の参加を増やすことが課題である。
	3) 行事活動															
	避難訓練	11		21	251	4	46					1		323	火災や地震等の災害時の避難行動の訓練を行った。	毎月様々な状況を想定した訓練を積み重ねることで、避難行動が身につけている。次年度は不審者対応の訓練を行うことが検討課題である。
	てづくりウィーク	20	1	10	139	2	10			1		1		164	七夕飾り作りと敬老プレゼント（ポップアップ手形カード）工作を行った。	七夕飾りは短冊を書き笹に飾り付けをしたことで季節を感じられる工作となった。敬老工作は子どもたちそれぞれ思いをこめて作っており、良いプレゼントとなった。
	おもしろ科学工作	1		3	26	3	6							38	ボンボンホバークラフト作りを行った。	工作だけでなく科学に触れる話を交えることで、子どもたちの興味付けにつながった。工作として自由度が高く、時間内に終われない子が多かったことが課題であった。
	体育館で遊ぼう スタッフ会議	2				1	7							8	「体育館であそぼう！」に向けた企画・準備を行った。	全員が楽しめるようにアイデアを出したり、短時間で準備もスムーズに行ってくれた。
	マンカラチャレンジデイ	5		4	62	6	8					2		82	マンカラ大会の練習を兼ねて、多くの子どもたちとのマンカラ対戦を行った。	大会に向けてモチベーションが上がった。また、チャレンジカードを用意したことで多くの子がチャレンジしてくれた。
	水あそび	1		4	25	2	7					1		39	館の庭に出て、水鉄砲や水風船など、水遊びを行った。	季節の行事として行うことができ、また子どもたちもとても喜んでくれた。次年度はもう少し回数を増やすことを検討したい。
	マンカラ大会	1		3	9	1	7							20	マンカラの優勝者を決めるトーナメント戦を申込制で行った。	普段の児童館では感じる事が少ない緊張感の中、真剣勝負で試合を行えたことが子どもたちの貴重な経験・成長につながった。
	ようせいハロウィンデイ スタッフ会議	1				4								4	ハロウィンデイに向けて企画・準備を行った。	ハロウィンあそびコーナーの準備や当日のお店番等、しっかりと役割を果たしてくれた。参加を増やす工夫が必要。
	ようせいワイワイフェスタ スタッフ会議	1				1								1	ようせいワイワイフェスタに向けて企画・準備を行った。	人数が少なかったため、もう少し積極的な広報を行う必要があった。
	じどうかんクリスマス会 スタッフ会議	6				17	15							32	クリスマス会に向けて企画・準備・練習を行った。	企画・準備・当日と自分たちから積極的に取り組んでくれて、大きな達成感につながっていた。
	あったかプレゼント作り	15		3	52		9							64	「ようせいあったかおとどけ隊」当日に渡すプレゼント（千支の絵馬）作りとメッセージ書きを行った。	心を込めて作ったプレゼントで地域の高齢者の方が喜んでいただけるという経験が、子どもたちの達成感や自己有用感の向上につながった。
	4) クラブ活動															
卓球クラブ	42	2	47	96	15	19	5	3			4		191	ラケットの持ち方やサーブの打ち方など練習しながら、卓球を楽しむ。	6月に開催されたなかよし卓球大会に向けての練習として、高学年の参加も見られたり、地域の幼児親子や高齢者の方の参加もあった。	
けん玉クラブ	24		8	80		5							93	持ち方から練習をし、様々な技の習得に向けて練習をする。	職員に指導を受け、コツを教えてもらいながら練習を進めていた。クラブ以外の時間にも、けん玉に励む姿が見られた。	
ぬりえクラブ	24		32	278	11	64							385	きれいにぬるコツをつかみ、様々なぬりえを楽しむ。	前後期ともに申込人数が多く、とても人気のクラブとなっていた。また、半期ごとのぬりえコンクールを楽しみにしてぬりえに励んでいる子もおり、各々の活動が充実していた。	
リズムゴムとびクラブ	24		5	229	2	9							245	歌に合わせてゴムとびをする。色々な歌に合わせてられるよう、練習を重ねる。	半期ごとの申込制として、子どもたちの集中力の持続につながった。目標に向けてしっかりと練習に励む子どもたちの姿も多かった。	

成 能	高学年クラブ	10			48	19						67	毎月1回、子どもたちが企画した、手芸や遠足、公園あそび等を行った。	自分たちがやりたいことを形にしていくということを経験でき、子どもたちの満足度は高かった。今年度は4年生のみの構成であったので、新年度は複数の学年同士での関わりを深めていく必要がある。	
	5) 地域間交流促進活動														
	左京・東山児童館学童保育所なかよし卓球大会に参加	1			1	3	3				1	8	参加希望者を募って、なかよし卓球大会に出場した。	低学年、高学年それぞれ大会への気持ちを持って参加ができ、普段の児童館での練習とは違う雰囲気と気持ちを体験することができた。	
	6) 障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進														
	7) 思春期児童の活動支援														
	開放デイ	12						11					11	中高生対象行事として、中高生のしたいことができる日として行った。	普段来館している中学生が来てくれ、普段とは違う遊び等を提案できたので、より一層の来館定着につながった。今後は中学生との話からニーズをつかんで、提案していくことも必要である。
	にこにこ運動会	1	8					25	7				40	高野中学校と連携して、幼児親子と中学生とのふれあい運動会を行った。	中学生がとても積極的に幼児親子に関わる姿が見られて、よい交流となった。行事後のアンケートからは中学生にとっても保護者の方にとっても、楽しく有意義な行事となったことがうかがえた。
	中高生世代と赤ちゃんとの交流活動	4						63	19				82	東山総合支援学校と連携して、講師に助産師を招いての赤ちゃん講座、元児童館保護者による子育て講座を行った。命の成り立ちや出産、子育てについて学ぶ。	関心を持ちながら積極的に参加する生徒の姿が多く見られ、活動終了後の感想では、命の成長への理解や自身への愛情の再確認などが聞かれた。連続講座とすることで、より深い理解へ繋げることができ、将来へのイメージを広げることができている。
	合 計	142	10	92	684	79	119	104	29	0	5	0	1122		
	推 進 活 動	9) 地域を知る活動													
10) 移動児童館活動															
体育館であそぼう		1		3	24	1	8	2			1	39	体育館で、逃走中や牛乳パックブーメラン飛ばしなど、のびのびと遊びを楽しむ。	広い体育館で走り回り遊べたことで、あそびの楽しさや体を動かすことの楽しさを共有することができた。スタッフの子どもたちも上手に盛り上げてくれていた。	
合 計		1	0	3	24	1	8	2	0	0	1	0	39		
子ども育成機能 合 計	143	10	95	708	80	127	106	29	0	6	0	1161			

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和4(2022)年度 児童館事業年間活動報告書 (養正) 児童館

活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
(1) 乳幼児とその保護者対象														
①幼児クラブ活動														
ぱんだこぱんだ	34	133									116	249	季節の工作や遊び、周辺地域での館外活動の他、ハロウィンパレードや消防署との避難訓練など、地域や関係機関と連携した取組も行った。今年度はさつまいも植え～さつまいも掘りといった食育に関してのあそびも取り入れた。	年間を通して登録人数は少なかったが、少なかったことで、しっかりと一人ひとりと向き合い、職員と親子一緒に楽しい活動を作り上げることができた。保護者の方も子どもたちも安心して毎回の活動に臨んでおり、年間を通してとてもよい雰囲気であった。次年度はさらに保護者同士の関係を深めることや児童館への所属意識を高められるようにしていきたい。
②乳幼児の広場活動														
ぞうさんプレイデー	19	62									57	119	トランポリンやトンネル、ミニジャングルジム等の大型遊具を設置しての広場。最後にみんなで体操を楽しむ。	毎回の利用者数の増減が大きく、気軽に利用する方が多かったかと思う。今年度は児童館を利用される乳幼児さんが0～1歳が主であったため、大型遊具が出ている取り組みを遠慮されている声も聞かれた。
のびのびひろば	84	106					3				98	207	部屋を開放。おもちゃや絵本など楽しみながら、自由に過ごしてもらえる場としている。	ゆったりとした雰囲気の中で自由に過ごすことができ、利用者同士おしゃべりをしながら楽しそうに過ごす場面も見られた。クラブや取組ではない気軽な利用につながった。
ほっこりヨガ	11	73									94	167	保護者向けの取組。プロの講師を招き、ヨガを行うことで日々の疲れを癒しリフレッシュする。	他学区、保護者のみなど、幅広く多くの利用がある。毎回スッキリとした表情で活動を終える保護者の姿があり、参加へのレポートも多い、ニーズがあり、子育て家庭への大きな支援につながっていると思う。
めばえ広場	19	65									62	127	1歳6ヶ月頃までの乳児親子向け取組。季節の工作や参加者同士でのおしゃべり等を楽しみながらゆったりと過ごしてもらった。10月に部屋の配置や活動内容をリニューアルした。	リニューアル後の広報で「1歳6ヶ月まで」と対象を明確化したことで、利用者の増加につながった。また、手形取りや身体測定を取り入れたことで利用者の定着にもつながった。0～1歳の利用が増えてきているので、次年度は回数を増やして、より一層の支援につなげていきたい。
はなまるひろば	10	25									32	57	親子で自由に過ごす中で、子育て相談を気軽に保育士等にできる場としている。	関係機関と連携し、困りや不安を抱える保護者への支援ができた。利用者は少なかったため、特に何か抱えておられる保護者には活動を紹介し、支援に繋がるよう積極的に声掛けをしていきたい。
ひなたぼっこ	4	33									37	70	ネイティブの講師を招いた英語での取組「英語であそぼう」を3回、3B体操を親子一緒に楽しむ「親子で3B体操」を1回行った。	他学区からの参加も多く、次の活動を望む声もあるなど、楽しみにしてくれている方が多い。ひろば等の利用者にももっと気軽に参加してもらえよう、引き続き声掛けをしていきたい。

基
本
子
ど

も 家 庭 支 援 活 動

スペシャル! ぞうさんブレイデー	1	3						3				6	乳幼児親子向けの取組が少ない8月に、トンネルやミニジャン グリズム等の大型遊具で遊べるぞうさんブレイデーを行った。	夏休み中の乳幼児親子向け の取組として、利用された 保護者には好評であった。 利用人数が少なかったの で、さらなる広報が必要だ ろう。	
ベビーサイン体験講座	1	8						9				17	ベビーサイン講師を招いて、乳児親子対象のベビーサインの体 験講座を行った。	初めての取組として行うこ とができ、また、10組の募 集仲がすぐに埋まるほどの 人気であった。講師の人物 もあり、参加された方々は とても楽しんでいた。	
(2) 家族参加を促す活動															
ちょこっと夏まつり	1	10						12				22	乳幼児親子対象で、8月に遊戯室で夏まつりあそびを行った。	夏休み中の乳幼児向け取り 組みとして初めて開催でき た。多くの参加があり、ま た家族全員で浴衣や甚兵衛 を着て参加されている方も あり、とても盛り上がる行 事となった。万華鏡工作が むずかしかったことは次回 の課題として残った。	
親子で運動会	1	6	13	11			1	20				51	左京地域体育館で、親子一緒に参加する運動会を行った。	学童クラブ登録家庭だけで なく、地域のご家族も参加 していただき、楽しい運動 会ができた。事前の声かけ もしたため、保護者の方も 積極的に参加していただき た。	
親子でサイエンス	1	6	5	11	2	1		9		7		41	京都工芸繊維大学の科学・ものづくり普及サークル「ぼっけ」 に来ていただいて、オリジナル石鹸作りとミニサイエンス ショーを行った。	目新しい「科学」という切 り口で家族行事を行うこと ができ、参加された家族は 石鹸作りもショーも楽しん でくださった。	
ようせいじどうかん クリスマス会	1	7	14	8	7	1		10				47	サックス等のアンサンブルチームによる演奏やみんなあそび、 だしもの、プレゼントくじびき等でクリスマス会を行った。	コロナ前以来3年ぶりに家 族参加でのクリスマス会を 行うことができた。音楽の 素晴らしさ、高学年スタッ フの頑張り、出し物の盛り 上がり等、充実した行事と なった。	
合 計	187	537	32	30	9	3	3	559	0	7	0	1180			
(3)子育て家庭相談・援助 活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路					件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数
	乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	3	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 }					3	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { 外国籍児の保育園入園について			2	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 {		3
	件数 計	3	-					3	-			3	-		3

		グループ名	構成人数	活 動 内 容	育成・支援内容	成果と課題
	(4)子育てグループを育成・支援する活動	アルバムカフェ	2名	主催保護者の指導により、スクラップブックングを楽しむ(子どもの写真を各自持参)。	会場提供、材料や道具等の貸し出し、子どもの見守りなど。	予定をしていたが、今年度は感染症拡大の影響により実施できなかった。次年度5月から再開する予定。
推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容		成 果 と 課 題
		「利用者アンケート」の結果を受けた取組	随時	アンケート結果とそこから見えてきた課題をおたよりと一緒に配布し地域に公開。課題解決に向けて努める。		利用者の声を聞くことができ、課題や地域のニーズが把握できる。今後の活動につなげたい。
		館内や児童館掲示板による広報	随時	児童館での取組のみならず、地域での活動においても、チラシやポスターを館内や掲示板に貼り出し、健全育成に関する啓発を進める。		興味をもってポスターを見たり、チラシを持ち帰る利用者の姿が見られた。
		児童館だより配布	随時	児童館利用や「京都市家庭ごみ有料指定袋」引き換えのための来館者などに対して、児童館だよりやチラシを配布する。		児童館のPRやその後の利用につながった。地域への配布もさらに広げていきたい。
		児童館だよりの地域回覧	月1回	地域の協力のもと、児童館だよりを地域住民に広く配布する。屋内外の掲示板にも貼り出す。		児童館の活動を地域住民に広く周知できた。
		ホームページによる広報	月1回	毎月末に更新。児童館や学童クラブに関する概要、翌月の取組などをお知らせする。		サイト内でポスターやおたより等の閲覧も可能とする。児童館だよりにQRコードも掲載。

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	福祉	基	本	社	促	活	進	機	動	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
													乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計
														自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
										養正なかよしサロン	9	養正社会福祉協議会・養正民生児童委員協議会	38					39	106	183	養正社会福祉協議会、養正民生児童委員協議会、養正保育所、東山総合支援学校	体験や季節の工作等、様々な内容で進めることができ、年度後半に向けて参加者も多くなっていた。支援学校の生徒による読み聞かせや乳幼児への関わりもあり、とてもよい多世代交流の場にもなっている。
										ねがいごと短冊	7	かもがわデルタフェスティバル実行委員会	4	2	27	1	4		5	43	養正社会福祉協議会、左京西部いきいき市民活動センター他	実行委員会からの依頼により開催した。児童館で初めて開催できたことで、新しい連携機関が生まれ、地域に根付く児童館としてのPRにもつながった。
										かもがわデルタフェスティバルに行こう	1	養正児童館		2	9					12	養正社会福祉協議会、左京西部いきいき市民活動センター他	学区内で行われる大きな取り組みに参加することで、地域諸団体との連携を深めることができた。今後は参画も含めて児童館をよりPRできる方法を検討したい。
										児童館deフードドライブ	6	京都市児童館学童連盟							12	12	京都市児童館学童連盟	初めての取組であったが、地域の方々が多くのお食料品を届けてくださった。児童館としての社会貢献にもつながる取り組みである。
										ようせいハロウィンデイ	1	養正児童館	7	14	11	8	1		12	53	養正社会福祉協議会、養正民生児童委員協議会	地域の方々の協力も得ながら進められ、季節のイベントを多世代で交流しながら楽しむことができた。
										おもちゃ病院	1	養正児童館	2	4	3	2			11	22	SKYおもちゃ病院	今年度初めて行った。物を大切にする気持ちをはぐくむことにつながり、児童館で行っていることで地域貢献にもつながっている。
										ようせいワイワイフェスタ	1	養正地域子育て支援ステーションネットワーク	41	21	32	34	4	1	109	242	養正小学校、養正保育所、メグミ幼稚園、小規模保育園キコレ、養正民生児童委員協議会	学校や地域と連携しながら今年度も開催できた。学童クラブの保護者からも多数の協力を得ることができ、館への理解にもつながった。小学校の行事と同時開催であり、スタッフの確保や参加者の行き来の整理等が課題であった。
										防災避難訓練	1	養正児童館		2	27				3	34	左京消防署、養正自主防災会、左京消防団養正分団	毎月行っている避難訓練を一步深めて、消防署や地域団体との連携の中で行うことで、職員と利用者の防災意識のさらなる向上につながっている。
										ようせいあったかおとどけ隊	1	養正児童館		3	7				7	17	養正養寿会、左京朝カフェ世代間交流グループ	地域の高齢者への気持ちを形としてお渡しすることで、児童の中での達成感や自己肯定感、地域への愛着につながっている。また今年度は世代間交流グループの方による左京カルタを一緒に行うことができた。
										ようせいクリーンウォークラリー	1	養正児童館	4	4	10				7	25	養正社会福祉協議会、飛鳥井公園愛護協力会	初めて開催ができた。楽しみながら地域のゴミ拾いを行うことで、エコへの意識を高めることができた。また、地域貢献を行うことで、児童の達成感や児童館のPRにつながった。
										合計	29	—	96	52	126	45	12	40	272	643		

能	活動内容	活動人数				成果と課題
		中高生	大学生	大人	合計	
(2) ボランティア活動の推進	遊びの中での子どもの見守り		108		108	ボールやぬりえなど、遊びを通して子どもと積極的に関わる姿が見られた。子どもたちにとって、幅広い年齢層との関わりをもつことができ、良い交流となった。ボランティアが児童館事業をより深く理解することにもつながった。
	合計	0	108	0	108	
(3) 地域との連携を促進する活動	連携団体等	連携内容				成果と課題
	養正小学校	毎月1回、「学校連絡会」として、養正小学校との連携を図り、子どもたちの様子や取組等の情報交換を行う。				児童の様子を中心にして情報共有を行うことで、小学校との連携がさらに深まっている。
	養正小学校、養正小学校PTA	小学校とPTA主催の「ようせいクイズラリー」へのあそびコーナー出展と当日に児童を引率して参加する。また、小学校主催の「クリーン大作戦」に職員と児童とで参加する。				小学校とPTAとが主催する行事への協力を通して、より連携を密にすることができている。
	養正民生児童委員協議会、養正小学校、養正保育所、メグミ幼稚園、小規模保育園キコレ、左京子どもはぐくみ室	年3回、「養正地域子育て支援ステーションネットワーク会議」として、情報交換や事業報告などを行う。また、年1回「研修会」を行い、地域の子育て支援施設職員の研鑽の場を設ける。				各施設の様子や取組など、様々な情報を共有することができた。連携しながら取組を行うこともでき、地域への支援につなげることができた。
	東山総合支援学校、高野中学校、養正小学校、養正保育所	毎月1回、「養正地域教育機関連携協議会」として、各施設長が集まり、情報交換を行う。				各施設の取組や様子を知ることができた。地域の課題を共有し、連携しながら動くことができた。
	養正社会福祉協議会、養正養寿会	地域で行われている「養正すこやかサロン」に職員が参加し、養正社会福祉協議会や養寿会、また地域住民との交流を行う。				参加することで地域の高齢者の声を直接聞くことができ、地域団体との連携も深まっている。また児童館の宣伝にもつながっている。

地 域 福 祉 促 進 機 能	基本活動	(4)児童館を支える地域組織作り	組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
			児童館運営協力会	養正社会福祉協議会 養正市政協力委員連絡協議会 養正民生児童委員協議会 下鴨少年補導委員会養正支部 養正体育振興会 養正養寿会連合会 養正小学校PTA 養正小学校 高野中学校 養正交通安全会 養正自主防災会、 左京消防団養正分団	年1回	以下の内容を、文章や写真とともにお知らせする。 ・児童館概要 ・事業報告、紹介 ・利用者アンケート結果報告 ・次年度年間活動報告 ・年間利用状況報告	日々多くの事業を行っていることを知っていただき、地域諸団体の方々との関係を一層深めることができた。また、児童館に対しての多くのご意見をいただくことができて、事業に生かすことができています。 様々な情報交換を行う中で、今後も地域の声やご意見、ニーズを把握するとともに、活動に生かしていきたい。
	(5)地域への施設提供	会場提供・備品貸出等	使用目的	提供先（団体・機関等）	成果と課題		
「養正なかよしサロン」への会場提供		子育て支援、地域とのふれあい活動のため（月1回）	養正社会福祉協議会、養正民生児童委員協議会、養正保育所、東山総合支援学校	干支工作などの季節の工作、おもちゃ作りや茶道体験を行った。取組に添った感染症拡大防止対策を行い進めていくことで、安心して参加してもらうことができた。支援学校の生徒も集い、子どもの見守りや絵本の読み聞かせを行うなど、世代を越えた関わりも楽しむことができた。児童館としても、子育て支援や地域の様々な繋がりを生み出してけるよう、今後も場所提供や取組において協力していきたい。			
(6)地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	
	児童館利用者共通アンケート	利用者の声を聞き今後の活動に繋げていくため	自由来館乳幼児保護者 自由来館児童 学童クラブ登録児童 学童クラブ保護者	京都市社会福祉協議会	選択、自由記述式アンケート（児童を通じての保護者への配布、来館時の配布）	利用者の思いや地域のニーズなどを知ることができた。課題も把握することができ、今後活動を進めていく上での貴重な情報となった。調査結果はおたよりに添付し、地域へも公開する。	
	幼児クラブ 「ぼんだこぼんだ」 年度末アンケート	利用者の声を聞き今後の活動に繋げていくため	幼児クラブ保護者	幼児クラブ「ぼんだこぼんだ」	自由記述式アンケート（最終取組日に配布）	「子ども楽しみにしていた」「温かい雰囲気でも過ごしやすかった」などの声が聞かれ、職員の励みにつながった。季節の工作やおでかけなど、具体的な取組も挙がり、今後の活動の参考となる。	
	年度末実施のアンケート調査（その他複数の乳幼児活動）	今後の活動に繋げていくため	活動利用の保護者	児童館における各取組主催者	自由記述式アンケート（各取組最終日に配布）	普段の会話の中では出てこないことも含めて、様々な利用者の思いを知ることができた。利用者のニーズを把握し、今後の様々な取組に繋げていきたい。	

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより	月1回	養正小学校児童と教職員、東山総合支援学校、養正図書館、養正保育所、ほっこりはあと出町、メグミ幼稚園、養正社会福祉協議会、養正民生児童委員協議会、市政協力委員、地域住民他	館内での掲示と配布、関係機関へ直接配布、小学校での配布依頼、主任児童委員への配布依頼、会議等での配布、地域回覧など	毎月の取組、取組の様子掲載、児童館からのお知らせなど	地域に広く児童館を知ってもらうため、毎月地域での回覧や小学校からの全家庭配布も行っていた。また、近隣の子育て支援関係機関や左京区役所への設置など、広範囲での広報により、利用者の増加につながっている。
	児童館利用のお知らせ	年1回	児童館利用者	館内での配布、児童館掲示板にてお知らせ	児童館の利用、遊戯室の使い方などについて	児童館の利用の仕方やルールなどの周知のために作成。安心、安全な利用のために配布する。ルール等に関して視覚的にも明示することで、利用者の理解しやすさにつながった。
	児童館利用案内	年1回	児童館利用者（保護者向け）	館内掲示	館内図、避難経路や非常口の案内、お願いなど	掲示や口頭での周知を行う。説明時に活用できた。
	各取り組み・行事のポスター、チラシ （毎月の取組：「めばえ広場」「ぞうさんプレイデー」「ほっこりヨガ」「おはなし会」「養正なかよしサロン」「アルバムカフェ」「はなまるひろば」 その他行事：「ひなたぼっこ」「てづくりウィーク」「おもしろ科学工作」「親子で運動会」「ようせいハロウィンデイ」「ようせいワイワイフェスタ」「じどうかんクリスマス会」「ようせいあつたかおとどけ隊」「ようせいクリーンウォークラリー」）	毎月1回 ～ 随時	児童館利用者、地域住民（乳幼児親子～高齢者）	ホームページ、児童館内配布、掲示、屋外掲示板、カフェボード、近隣へのポスター掲示依頼、養正社会福祉協議会・養正民生児童委員協議会・養正小学校・養正保育所・東山総合支援学校等へのポスター掲示	取組の日時や内容のお知らせ	ポスターを作成し、遊具や取組の様子を掲載することで、利用者の興味付けにつながり、また、利用にもつながった。関係機関と協力しながら広報に努めることで、より一層の利用拡大を図っている。
	利用者アンケート実施のおしらせ、集計結果	各年1回	児童館利用者、地域住民	各関係機関や地域への配布	実施日時や内容、集計結果のお知らせ	おしらせ掲示の他、声掛け等により、利用者により協力していただくことができた。集計結果については地域や関係機関等幅広くお知らせをする。
	左京区役所保健福祉センター子どもはぐくみ室発行の「左京はぐくみだより」	月1回	児童館利用者、地域住民	「左京区役所保健福祉センター子どもはぐくみ室」により各子育て支援関係機関へ冊子を配布	取組の日時や内容のお知らせ	様々な関係機関の情報が一目で分かり、本誌の情報により興味を持って利用される方々も多かった。
	児童館ホームページ	月1回	地域住民他	毎月末にページ内容を更新、翌月の取組の紹介を行う	児童館の概要、毎月の取組など	学区外からの利用もある。ポスター、児童館だより等の掲載を行うことで、ホームページを閲覧しての来館も多く見られた。今後は、更新回数を増やすことや、SNSの活用等、保護者のニーズに合う方法での広報も検討していく必要がある。
	幼児クラブ「ばんだこばんだ」入会募集ポスター、チラシ	年1回	児童館利用者、地域住民、地域施設利用者	館内での掲示と配布、関係機関への配布とポスター掲示依頼、近隣施設へのポスター掲示依頼	取組の日時や内容、費用等の詳細をお知らせし、入会案内を行う	ポスターやチラシでの広報を広範囲に行う。興味を持たれる親子が増え、クラブへの登録につながった。
	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策についてのお知らせ	年1回	児童館利用者	児童館玄関掲示	児童館利用時の協力をお願い	掲示にて、入館前に伝えることで、意識を高めてもらうことができた。
	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関するお願い	随時	児童館利用者、地域住民	児童館内配布	感染症拡大防止対策について	自館での対策を詳細に伝えることで、利用者への安心につながった。
京都市新型コロナあんしん追跡サービスについてのお知らせ	年1回	児童館利用者	児童館内掲示（2ヶ所）	サービスについてのお知らせ	掲示にて伝えることで、意識を高めてもらうことができた。	